



## 特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 6年 4月 17日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 愛知県蒲郡市港町 2 番 5 号

氏 名 竹本油脂株式会社

代表取締役社長 竹本 元泰

電話番号 0533-68-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹本油脂株式会社 鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東深芝16番11
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16 (化学工業)
②事業の規模	製品出荷量 72,000トン/年
③従業員数	36名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	洗浄工程→洗浄水(廃酸(有害)・廃アルカリ(有害)) →外注処理：焼却、熱回収、再資源化 品質分析→廃溶剤(引火性廃油)→外注処理：焼却、油水分離

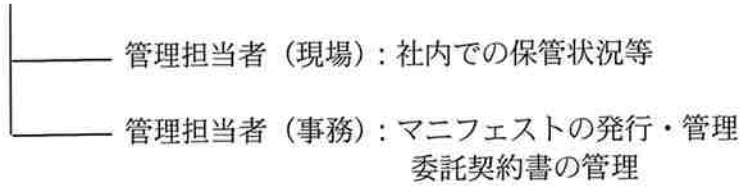
(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

特別管理産業廃棄物管理責任者（工場長）

産業廃棄物管理責任者（工場長）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ（有害）	引火性廃油
	排出量	3, 7 7 6 t	0. 8 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。 ・ 年初計画よりも生産量が減少した。 原単位当たりの廃棄物発生量は前年並みであった。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ（有害）	引火性廃油
	排出量	3, 7 0 0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。 ・ 前年度比で増産を計画しているが、製品の設計を逐次見直し、原単位あたりの廃棄物発生量削減を図る。		
	(計) 3,701 t		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別：廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）・引火性廃油 取組：pHをあらかじめ調整して、廃アルカリとして委託
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別：廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）・引火性廃油 取組：現状維持

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和   5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ(有害)	引火性廃油
	全処理委託量	3, 7 7 6 t	0. 8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3, 7 7 6 t	0. 8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3, 7 7 6 t	0. 8 t
	(これまでに実施した取組) ・製品の設計を見直し、原単位あたりの廃棄物発生量を削減。		

## (第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ(有害)	引火性廃油
	全 処 理 委 託 量	3, 7 0 0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3, 7 0 0 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	3, 7 0 0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃酸(有害)・ 廃アルカリ(有害)の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。 ・ 製品の設計を見直し、原単位あたりの廃棄物発生量を削減。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	3, 7 7 6 t	
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストを引き続き使用していく。		
※事務処理欄			